

携帯電話で二次元バーコードが表示された画面をスキャン。いつでも持っている携帯電話を使えば、ポイントをためやすい

携帯電話でポイントためよう



駒川商店街

「2次元バーコード」利用 来月から新システム

東住吉区の商店 多く
街や小売店で導入されているポイントシステムで、東住吉区駒川の駒川商店街が四月一日、携帯電話のメール機能と「2次元バーコード」を利用した新しい方式のシステムをスタートさせる。いつでも持っている携帯電話がカード代わりになるため、手間なくほとんどポイントがためられそうだ。

二次元バーコードを使ってポイントをとめるシステムは全国の商店街でも珍し

という。

たくさんのポイントカードで財布がパンパンになったり、持っていない時に買い物をして少し損をした気分になるなど、便利なポイントカードにも泣きどころがある。駒川商店街の新しいポイントシステムは、そんな悩みを解決する。

システムは「駒川のおきに」が貯まる財布 ポイントケータイシステム

「タマール」と名付けられた。利用にはまず、駒川商店街の携帯サイトでの会員登録が必要になる。登録後にメール送信されてくる二次元バーコードを携帯電話の画面メモに保存すれば準備OK

二次元バーコード 記録できる情報量を飛躍的に増加させたバーコード。例えば、従来のバーコードの情報に二十けたまでの数字と記号なのに対し、二次元バーコードは漢字を含む全ての記号を情報として詰め込める。

Kだ。商店街加盟店で商品 購入時にこの画面を示す 寄せている。

と、店員がバーコードの読み取り機能のある携帯電話を使って情報を処理。しばらくするとポイントがメールで配信される。

駒川商店街振興組合の須田良之副理事長は「使い方はサイトへの接続など、簡単な操作ができれば問題がない。誰もがいつでも持っている携帯電話なら、ポイントをとめやすい。若いお客さんも商店街を利用して

<http://www.koma-gawanet/i/>

(沖徳子記者)

二〇〇四年三月二十四日(水)

大阪日日新聞